

令和3年2月18日
大臣官房技術調査課
総合政策局技術政策課

第3回日本オープンイノベーション大賞 「国土交通大臣賞」の受賞者が決定しました！

～海洋油濁防止のための耐衝突・座礁性に優れた高延性厚鋼板開発・実用化が受賞～

日本オープンイノベーション大賞は、我が国の未来を担うイノベーション創出の加速を目指し、産学連携、大企業とベンチャー企業との連携、自治体と企業との連携など、組織の壁を越えて新しい取組に挑戦する「オープンイノベーション」の模範的なプロジェクトを政府が表彰するものです。

国土交通省では、国土交通分野における科学技術の振興の視点から特に顕著な取組等が認められる個人又は団体に、「国土交通大臣賞」を授与^{*}することとしております。

本日、国土交通大臣賞を、国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所 山田安平センター長をはじめ4名に授与することとしました。表彰式は2月25日(木)、虎ノ門ヒルズフォーラム4階ホールB(東京都港区虎ノ門)にて行います。

※「日本オープンイノベーション大賞」では、政府各府省の担当分野毎に大臣表彰するとともに、経済団体、学術団体の会長賞の表彰も行います。各賞の中で最も優れたものを内閣総理大臣賞として表彰します。

○受賞対象技術・受賞者 ※詳細は別紙参照

【対象技術】

海洋油濁防止のための耐衝突・座礁性に優れた高延性厚鋼板開発・実用化

【受賞者】

やまだ やすひら
山田 安平 (国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 センター長)

いちかわ かずとし
市川 和利 (日本製鉄(株) 主幹研究員)

おだ なおき
小田 直樹 (日本製鉄(株) 主幹)

かみた けんじ
紙田 健二 (今治造船(株) 執行役員)

ふなつ ゆうじ
船津 裕二 (一般財団法人日本海事協会グループリーダー)

○表彰式

日時：2月25日(木) 17:00～20:00(予定) オンライン配信

会場：虎ノ門ヒルズフォーラム 4階 ホールB(東京都港区虎ノ門)

※「日本オープンイノベーション大賞」の詳細については、内閣府ホームページをご覧ください。

<https://www8.cao.go.jp/cstp/openinnovation/prize/index.html>

※表彰式の取材を希望される場合には、**2月24日(金)12時まで**に、下記 URL から御登録ください。

<https://form.cao.go.jp/cstp/opinion-0508.html>

【問い合わせ先】電話：03-5253-8111(代表)

国土交通省大臣官房技術調査課 菊田、中井(内線 22343, 22305)

電話 03-5253-8125(直通) FAX 03-5253-1536

国土交通省総合政策局技術政策課 岩田(内線 25627)

電話 03-5253-8308(直通) FAX 03-5253-1560

山田安平((国研)海上・港湾・航空技術研究所センター長)、市川和利(日本製鉄(株)主幹研究員)、小田直樹(日本製鉄(株)主幹)、紙田健二(今治造船(株)執行役員)、船津裕二((一財)日本海事協会グループリーダー)

概要

船舶の衝突や座礁による海洋油濁による環境破壊を防止するために、衝突されてもよく伸びることで破口しにくい「高延性鋼」を開発。海上・港湾・航空技術研究所と、日本製鉄、今治造船と日本海事協会が連携し、コンセプト提案、材料開発、実機製造、認証制度およびガイドラインの公開、実船適用を実現。

目的

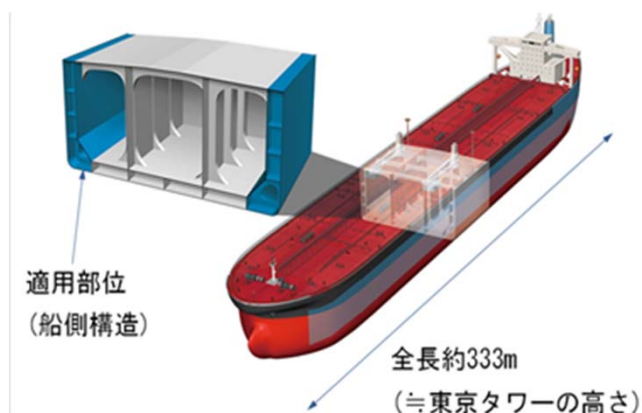
大規模油流出事故(米国、1989年)を機にタンカーの二重船殻構造が義務付けられたが、その後も衝突・座礁による油流出は後を絶たない。船体構造の変更の必要がなく、造船所の設計及び施工上の負担の増加がない新たな解決策を提案し、海洋環境保全に貢献。

内容

4機関の連携で、材料開発から実船適用までを一気通貫で実施したプロジェクト。製鋼・圧延技術を革新して、高延性鋼を開発し、大量生産技術を確立。昨今の海洋環境保護への関心、安全性向上等の期待から、策定した「ガイドライン」を広く容易に世界で活用できるよう公開。

効果

従来規則比1.5倍の伸びを有する高延性鋼の製造に成功。船体への最適配置により、船舶の衝突による油流出リスク・経済リスクを大幅に低減し、海洋環境保全を通じて、SDGsに貢献。



ココが、
ポイント!

世界造船量の90%を占める日・中・韓の3か国で船体構造の特許を取得。高延性鋼を用いた「先進船舶」は、国交省告示に基づき、税制優遇の対象となる。海洋国家日本の造船業の競争力の向上につながる取組で、予定も含め、31隻の大型船舶に採用。

「第3回 日本オープンイノベーション大賞」の受賞取組・プロジェクトについて

賞名	取組・プロジェクト名称
内閣総理大臣賞	社会的意思決定アルゴリズムのオープンソース開発&実装基盤
科学技術政策担当大臣賞	生体認証とバイタルサインの同時計測が可能なシート型イメージセンサの開発
総務大臣賞	「神戸市消防団スマート情報システム」の運用 【消防団員による AI を活用した災害時の情報共有と安全管理】
文部科学大臣賞	研究領域を対象にした、創業経営人材育成・輩出プログラム 「Innovation Leaders Program」
厚生労働大臣賞	救急搬送時の遠隔作業支援
農林水産大臣賞	陸上養殖新産業による食糧危機の解決/地方創生
経済産業大臣賞	AI/クラウドを活用して等身大バーチャルキャラクタが警備・受付・発熱者対応業務を提供する「バーチャル警備システム」
国土交通大臣賞	海洋油濁防止のための耐衝突・座礁性に優れた高延性厚鋼板開発・実用化
環境大臣賞	「アップサイクル×福祉×JR 東日本」による SDGs 推進～駅等のインフラを活用した新しいアップサイクルモデルの構築と障害のある人も活躍できる社会づくりの応援～
スポーツ庁長官賞	Sports Camp Japan
日本経済団体連合会会長賞	損害サービス・デジタル戦略 (保険金支払の DX ～人とデジタルのベストミックスの実現～)
日本学術会議会長賞	低出生体重児減を実現した “岩見沢市・北海道大学の産学地域共創プロジェクト”
日本オープンイノベーション大賞選考委員会特別賞	体内病院が未来を変える ～シックケア社会からスマートライフケア社会への変革を目指して～ 産学連携でサイバー攻撃の迅速な検知と対策を実現する取組